



仮想マシンの削除

ここでは、次の内容について説明します。

- [vSphere UI を使用した VM の削除 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco CSPからの Crosswork Data Gateway サービスの削除 \(2 ページ\)](#)

vSphere UI を使用した VM の削除

このセクションでは、vCenter から Crosswork Data Gateway VM を削除する手順について説明します。



(注) この手順によって、すべての Crosswork Data Gateway データが削除されることに注意してください。

始める前に

各 Crosswork Cloud アプリケーションのユーザガイドの「Delete Crosswork Data Gateways の削除」の項の説明に従って、Crosswork Cloud から Crosswork Data Gateway を削除したことを確認します。

ステップ 1 VMware vSphere Web クライアントにログインします。

ステップ 2 [ナビゲータ (Navigator)] ペインで、削除するアプリケーション VM を右クリックし、[電源 (Power)] > [電源オフ (Power Off)] を選択します。

ステップ 3 VM の電源がオフになったら、もう一度 VM を右クリックし、[ディスクから削除 (Delete from Disk)] を選択します。

VM が削除されます。

Cisco CSPからの Crosswork Data Gateway サービスの削除

Cisco CSPから Crosswork Data Gateway サービスを削除するには、次の手順を実行します。

始める前に

Crosswork Cloud アプリケーションそれぞれのユーザガイドの「Crosswork Data Gateway の削除」の項の説明に従って Crosswork Cloud から Crosswork Data Gateway を削除したことを確認します。

ステップ 1 Cisco CSP にログインします。

ステップ 2 [設定 (Configuration)] > [サービス (Services)] に移動します。

[サービス (Service)] テーブルにサービスの現在のステータスが表示されます。

ステップ 3 [サービス名 (Service Name)] 列でサービスインスタンスを見つけ、[アクション (Action)] 列の下にある [削除 (Delete)] をクリックします。
